



みやこ



愛郷音楽祭

12月22日

郷土出身の音楽家 さとみ ただし 里見 義氏と たかはし のぶ お 高橋 信夫氏
を顕彰し、地域の音楽文化向上のために開催
されています。

今回も東京藝術大学の協力のもと盛大に開
催されました。

12月定例会の結果報告	2～4P
議会の活動報告	5～7P
9名の議員が町政を問う	8～17P
小学校6年生が議会を傍聴	18～19P
町内の頑張っている団体を紹介	20P

委員会審査報告

12月定例会で総務・産業建設・文教厚生常任委員会に付託された主な議案の審査概要を報告します。

総務常任委員会(12月7日)

犀川支所を中央公民館に移転することに伴い条例を改正

公共施設再配置計画に基づき、平成30年度末をもって、犀川支所を中央公民館に移転するもの。

Q 中央公民館と犀川支所の業務を同一に行うのか、または別々に行うのかを含めて、移転後の運営について不明な点が多い。移転後の犀川支所には職員を何名配置するのか。

A 業務分担や人員配置については検討中である。

(意見) 中央公民館の管理業務や犀川支所の窓口業務をどの様に行うかは、住民サービスが行き届けば良いことである。くれぐれも住民サービスに支障をきたすことがないようにしていただきたい。

Q 犀川支所及び豊津支所で税金等の納付は出来るのか。

A 金融機関は撤退するので、支所での納付は出来なくなる。



犀川支所が入居する中央公民館

平成筑豊鉄道への負担金として

1101万3千円補正

平成30年7月豪雨災害に伴う平成筑豊鉄道の災害復旧工事費用として沿線市町村で負担するもの。

福岡県知事及び同県議会議員選挙費に578万4千円補正

平成31年4月7日に行われる福岡県知事及び同県議会議員選挙の期日前投票16日間のうち平成30年度分10日間の予算等を補正するもの。

みやこ町議会議員選挙費に

21万6千円補正

平成31年4月21日に行われるみやこ町議会議員選挙の入場券印刷費等の予算を補正するもの。

産業建設常任委員会(12月10日)

ふるさとづくり寄附金に

1億円補正

ふるさと納税の収入見込み額を当初予算の3千万円から1億3千万円に補正するもの。

まちづくり振興費に5千万円補正

ふるさとづくり寄附金の補正に伴いその経費として手数料を補正するもの。

Q 手数料5千万円の根拠は。また、寄附のどのくらいを返礼品にあてるのか。

A 返礼品に30%、郵送料に10%、ふるさと納税のホームページ等の管理費に10%、計50%の5千万円が必要経費となる。

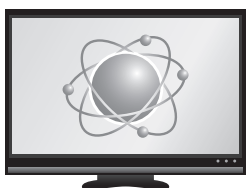


ふるさと納税返礼品カタログ

経営所得安定対策推進事業に

199万8千円補正

経営所得安定対策推進事業では、国へインターネット回線を通じてデータを送信している。そのシステムを更新するもの。



文教厚生常任委員会(12月11日)

国民年金システム改修に

85万4千円補正

国民年金第1号被保険者の産前産後期間について、国民年金保険料を免除することに対応するもの。

犀川伊良原グラウンドゴルフ場を
管理運営するため条例を改正

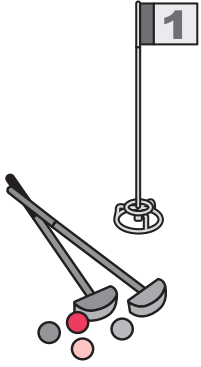
県営伊良原ダム周辺整備事業により整備されたグラウンドゴルフ場の使用料等を定めるもの。

Q 管理はどのようにするのか。

A グラウンドゴルフ協会にお願いしたいと考えている。また、施設等もしっかり行っていく。

Q 使用料にバラつきがあるようだが。

A 消費税率の変更に伴う、条例の改正に合わせて検討する。



伊良原グラウンドゴルフ場

諫山、久保、豊津小学校のブロック
塀の改修に1550万円補正

6月18日に発生した大阪北部地震によるブロック塀の倒壊事故を受け、各学校のブロック塀の安全点検を行なった結果、改修が必要なブロック塀があつたため改修するもの。

Q 改修する際にブロック塀からはみ出している植木はどうするのか。

A 危険なブロック塀は撤去し、ネットフェンスを設置する予定である。その後、現況を確認し、撤去の必要な植栽等に対応する。

水道料金に関する報道について

みやこ町の水道料金が、将来、全国の市町村で一番高額となるとの報道がなされたことについて、質疑があつた。

(町長) 今回の報道について、すぐに担当課長と協議し、水の安全保障戦略機構に抗議した。水の安全保障戦略機構は、これはあくまで同一案件のもとで行つた推計値であり、みやこ町には迷惑をかけたとの事であつた。

どのような経緯であれ、みやこ町として、この問題に対して、しっかりと対応していく。

Q 水道の利用者に対して説明する必要があるのではないか。

A 協議し対応する。

(意見) 今回報道された料金にならないとしても、人口減少等の要因で水道料が上がる事が予想される。しっかりとした対策を。



報道に対する

みやこ町の見解

国会における水道法の改正に伴い、みやこ町の水道料金が将来2万2239円(20㎡当り)まで値上げされるかのような報道が行われましたが、この金額は「(一社)水の安全保障戦略機構」により全国画一的に推計されたものです。

この推計は、個別の具体的実態を勘案してなかつたことから将来の水道料金の推計が正しく行われず、大きく乖離した結果となっており、町としてもこのような料金改定の計画はありません。

水道利用者の皆さんにはご心配をおかけしましたが、今後も安心して水道を利用できるように、事業運営の効率化を図り適正な水道料金の維持に努めます。

【問い合わせ】

みやこ町上下水道課

☎ 332・6003

議案に対する討論

みやこ町支所及び出張所設置 条例の一部を改正する条例の 制定について

賛成討論 田中勝馬議員

現在の支所機能は、町民が納得する状況ではない。いろいろな問題点が指摘されている。執行部は、今日までの指摘や問題点について精査し、町民ニーズに合った行政運営に努めると答弁している。

職員1人で受け持てる人数は決まっている。これから、ますます高齢化が進む。この機会に全ての行政サービスのあり方を見直す必要がある。

みやこ町においても、今後厳しい財政状況となることが推測される。

そのため、効率的な行政運営を図るためにはコスト軽減に取り組み、財源確保に努め、安定的な行政サービスを提供していかねばならないことは言うまでもない。

よって、案に賛成するものである。

平成30年度みやこ町一般会計 補正予算(第3号)

賛成討論 田中勝馬議員

今回の補正は、歳入歳出それぞれ5億6414万2千円を追加し、総額123億1973万7千円とするものである。その中身は審査の過程でも明らかになったように、教育費や民生費など町民の生活に直結する補正である。今回の補正の中で特に目を引くのは、ふるさと納税の1億円の補正である。自分の目を疑うような額にはびっくりしたというのが本音の気持ちである。

やる気になれば奇跡は起こる、努力すれば必ず実るという言葉がある。町長を初め、職員の御努力、御活躍に対し敬意を表す。

よって、本案に賛成するものである。



平成30年第4回定例会を12月3日から12月19日までの17日間にわたり開催しましたので、その議決結果について報告します。

平成30年第4回定例会議案議決結果及び議員別賛否一覧表

議案名	議員名											議決結果			
	肥喜里雄二	吉竹次男	柿野正喜	中山茂樹	小田勝彦	田中勝馬	飯本秀夫	中尾昌廣	金房眞悟	浦山公明	大東英壽		上田重光	中尾文俊	柿野義直
みやこ町支所及び出張所設置条例の一部を改正する条例の制定について	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決
みやこ町体育施設の設置及び管理運営に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
行橋市との行橋市児童発達相談センターの利用に関する協議について	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成30年度みやこ町一般会計補正予算(第3号)	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決
平成30年度みやこ町下水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町議会傍聴規則の一部を改正する規則の制定について	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町議会運営委員会規程の一部を改正する訓令の制定について	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

議長は、採決に加わらない。○は賛成、●は反対、欠は欠席。

議会の活動を報告します!

産業建設常任委員会

奈良県大和郡山市を視察研修

10月4日

ボランティアガイドの取り組みについて大和郡山市を視察研修しました。

ボランティアガイドクラブ設立の経緯は、観光で来られる方に大和郡山市の良さを伝える事が目的だそうです。

ボランティアガイドを養成するため、観光協会養成講座を3年毎に開講し、15回の講座のうち12回以上受講された方がボランティアガイドとしての資格を得るそうです。

市民グループが観光を盛り上げようと観光応援隊を結成し、自主的かつ積極的に活動されていることがうかがえました。

みやこ町は、地理的面積も広いことから、ポネネットバス等利用して観光めぐりを計画されていると思いを



総務常任委員会

奈良県広陵町を視察研修

10月5日

近年の異常気象により、みやこ町に於いても、平成30年7月の豪雨で町内各地に被害が出ました。防災対策が重要な課題となっています。そのようなことから、災害対策で先進的な取り組みを行っている広陵町を視察研修地としました。

広陵町では、地域に根ざす防災の柱として3つの項目に取り組んでいました。

その取り組みで、自主防災組織の設置率は95%と高く、地域防災のリーダーである防災士は198名となっています。

また、地域の災害時に即応できるよう防災倉庫の設置も推進しています。地域の人々の防災意識の高さを感じました。

大規模災害が発生した場合、公助である行政の対応は限定されます。地域の人々の防災意識を高め、共助である

地域で出来ることは地域で行うことが重要です。

そのためにも、自主防災組織や防災倉庫を設置することは有効であると感じました。

今回の視察研修で得たことを今後の議会活動に活かしていきたいと思いを

広陵町の三つの柱

1 災害に強い人づくり

- (1) 防災士資格取得者支援
- (2) 地域防災リーダーの養成
- (3) 防災教育の推進

2 災害に強い組織づくり

- (1) 自主防災組織の設置推進
- (2) 防災関係者のネットワーク構築

3 災害に強い地域づくり

- (1) 備蓄倉庫の機能充実
- (2) 自主防災組織支援
- (3) 備蓄倉庫の整備
- (4) 避難所の整備

広報特別委員会

全国町村議会広報研修会に参加

10月9日

最初は「読み手に伝わる文書の書き方」との題目で講演がありました。多くのの人に読んでもらい、理解してもらえ、共感してもらえる文章を書くこと。そのためには、「主語と述語をしっかりと対応させ、理解しやすい文章にすること」や「伝えるべきことを前に出し、共感を引き出すこと」等の説明がありました。

2番目は「デザインの力で、もつと伝わる議会広報紙に」との題目での講演でした。

読み手目線で考えるためのポイントとして「興味を持つきっかけとなるキーワードを選び強調すること」や「文章に個性を持たせる手段として文字サイズ等に差をつけること」が必用とのことでした。

最後は「最優秀賞及び優秀賞作に見る光彩を放つ編集力」との題目での講演でした。

2つの広報紙を題材に講演は進みました。それぞれの広報紙の評価のポイント「町と住民に寄り添った

情報の編集力が巧みであること」や「議会の担う役割を訴求した編集力が巧みである」とのことでした。読者の皆さんに伝わる文章の書き方について、何度も研修を受けましたが大変奥が深く難しいことを改めて反省させられました。

研修で学んだことを、今後の議会だよりの編集に活かすように努力し頑張ります。



松前町議会での研修

文教厚生常任委員会

兵庫県相生市を視察研修

11月1日

子育て応援都市宣言について視察研修しました。相生市の子育て応援都市宣言は、11の事業をあいおいが暮らしやすい11の鍵としてPRしていました。

給食費無料化事業
ワンピース・イングリッシュ事業
相生っ子学び塾事業 等

主な質疑と答弁

Q 子育て応援都市宣言を行った経緯は。

A 年少人口が県下で最下位であったため、平成18年度から行財政健全化計画の中で人口減少を最重要課題としてあげた。そして、23年度からの行財政健全化計画で、人口減少対策などを選択と集中による投資とすることとした。

Q 給食費無料化事業の対象児童生徒数、経費及び財源は。

A 私立幼稚園6園、小学校7校、中学校3校で計2481人。30年度予算額は1億619万3千円で全て一般財源。

Q 子育て応援施策の効果は。

A 国に先駆けて平成23年度から子育て・教育支援、定住促進への取り組みを実施し、出生数の維持と社会増減数の減少幅が約半分になり概ね達成している。

その他質疑等行い研修を終えました。

所見

日本全体が少子化とともに人口減少社会に突入している中で、相生市も減少傾向にあるため市長を筆頭に危機意識をもって職員一丸となって取り組んでいます。近年では転出者が減少傾向にあり一定の効果は表れています。みやこ町も、人口減を危惧するも特効的対策にあらず人口減少に歯止めがかからない。「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定を再認識し、目標に終わらせない実行力を発揮しなければならぬと痛感しました。



活動報告

10月から12月までの議会及び議長の活動を報告します。

月 日	件 名
10月4日(木)	中学生の未来に贈るコンサート
10月6日(土)	広報特別委員会
10月10日(水)	町立保育所ふれあい運動会、築城基地追悼式
10月12日(金)	森林・林業・林産業活性化促進議員連盟 福岡県連絡会議総会及び林政セミナー
10月14日(日)	第25回みやこ町陸上競技大会「白川力記念」、 第12回みやこ町文化月間記念発表会
10月15日(月)	広報特別委員会
10月16日(火)	みやこ町新年のあいさつ会実行委員会
10月18日(木)	広報特別委員会
10月20日(土)	グルッとみやこサイクリング、 みやこ伊良原学園学習フェスタ
10月24日(水)	第27回全国市議会議長会基地協議会九州・沖縄部会総会
10月26日(金)	第8回みやこ町老連スポーツ大会
10月27日(土)	太鼓フェスタinみやこ2018
10月28日(日)	第11回みやこ町B&G杯剣道大会
10月29日(月)	秋月藩土墓前法要
11月3日(土)	第7回豊前国府まつり
11月5日(月)	豊前地区(京都・築上・田川)三郡町村議会 正副会長・事務局長会議
11月8日(木)	表敬訪問(大相撲行橋京築場所関係者)、 田川郡町村議会議長会研修会
11月10日(土)	会津若松市民親善交流訪問団との「郡長正墓前法要」、 福岡県ソフトボール京築地区協会50周年記念式典
11月13日(火)	地域づくり研修会、 みやこ町オリンピック事前キャンプ実行委員会
11月16日(金)	みやこ町社会福祉協議会理事会
11月17日(土)	第13回みやこ町産業祭
11月18日(日)	第13回みやこ町犀川マラソン大会、 第13回みやこ町産業祭
11月19日(月)	犀川地区小学校校舎建設安全工事祈願
11月21日(水)	第62回町村議会議長全国大会
11月23日(金)	みやこ町凧あげ大会
11月25日(日)	築城基地航空祭祝賀会
11月26日(月)	年末年始特別警戒出動式
12月1日(土)	第13回みやこ町人権のつどい
12月2日(日)	第72回京都郡駅伝大会、錦町花街道フェスタ2018、 伊良原ダム展望台モニュメント除幕式
12月5日(水)	大相撲行橋京築場所
12月6日(木)	議会改革調査特別委員会 みやこ町スポーツフェスタ実行委員会
12月13日(木)	公営住宅譲渡審議会
12月16日(日)	みやこ町ふれあい餅つき大会
12月19日(水)	広報特別委員会
12月27日(木)	京都府議会議長・議会事務局長会議



太鼓フェスタinみやこ2018



みやこ町B&G杯剣道大会



田川郡町村議会議長会研修会



伊良原ダム展望台モニュメント除幕式

一般質問

田中 勝馬 議員	9 p
1 公共施設管理について	
2 自動体外式除細動器について	
3 空自築城基地について	
飯本 秀夫 議員	10 p
1 納税について	
2 イベントについて	
3 公共施設について	
浦山 公明 議員	11 p
1 行財政について	
2 産業行政について	
3 福祉行政について	
中山 茂樹 議員	12 p
1 福祉行政について	
2 教育行政について	
3 災害復旧工事について	
柿野 正喜 議員	13 p
1 定住対策について	
2 道路行政について	
3 障害者支援対策について	
中尾 昌廣 議員	14 p
1 日本一高い水道料福岡県みやこ町	
2 高齢化と過疎対策について	
3 旧犀川役場を診療所とケアセンターに	
4 移動販売について	
中尾 文俊 議員	15 p
1 耕作放棄施策について	
2 教育環境について	
3 生活環境について	
柿野 義直 議員	16 p
1 社会環境の急激な変化について	
2 教職員の労働環境について	
3 築城基地周辺住民の要望について	
熊谷 みえ子 議員	17 p
1 教育行政について	
2 地方行革の名のもと 公共施設の統廃合は再検討を	

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。みやこ町議会では、年4回の定例会で一般質問をすることができ、一人の持ち時間は60分です。



田中勝馬
議員

Q	A
<p>公共施設指定管理者制度の運用実態について</p>	<p>管理の実態把握と経費の削減に努めている</p>

Q 今日まで、どの様に検証しどの様な制度改善を行ってきたのか。

A 農業共同作業所については、作業所運営委員会を開催し経費の削減、管理運営方法など、農業者への負担軽減となるように改善を図っている。観光案内所については、事業報告書により管理業務の実態把握、利

用状況等を確認している。

Q 費用対効果について、削減された公費はどの様に生かされたか。

A 共同作業所が老朽化しており、3地区から年300万円、基金として積み立てている。更に施設の補修等の公費削減のため毎年600万円を積み立てている。



農業共同作業所（豊津ライスセンター）

自動体外式除細動器「AED」の普及啓発について

Q 小中学生を対象に救命救急教室を開催し、命を守る教育授業をしてはどうか。

A (教育長) 小中学校での「命の大切さ」を学ぶ活動としてAEDの実技を取り入れた救命講習会の実施について検討する。

Q 現在、AEDは屋内に設置されているが、休日でも使えるように屋外に収納ボックスを設置してはどうか。

A 設置場所や管理方法等も含めて、必要性について検討したいと考えている。

空自築城基地について

Q 有事などの緊急時に備え米軍弾薬庫や駐機場、燃料タンク等の施設整備について、事前に概要説明等があったのか。

A 事前に概要説明を受けたが、日米両政府における「再編のための日米ロード

マップ」の合意に基づく緊急時の使用のための施設整備である。周辺住民の不安・懸念等はある。別途、緊急時の使用に備えて訓練の計画はなく、沖繩の負担軽減につながるものと考えている。

Q 宿舎も新設し、滑走路も300m延伸、米軍戦闘機12機程度、輸送機1機程度、軍人約200人程度の受け入れ可能となっているが、米軍の常駐化を懸念する声が強い。その点について町長の考えを聞く。

A 町民の安全安心のためにも引き続き近隣市町村と連携し、施設整備等の情報について、九州防衛局にスピーディーで適時的確な情報提供を要請していく。



Q

ふるさと納税推進の成果は

A

目標額5千万円の2倍強を達成した



飯本 秀夫
議員

Q ふるさと納税は、全ての自治体が増額に向けて努力している。

先日の委員会のなかで担当課長より、納税額の上方修正の報告を受け、町長をはじめ、職員各位の意気込みを感じるが、さらに実績を上げるには、トップセールスが一番有効な手段と考える。

町内には、歴史とともに多くの卒業生を輩出している現在の育徳館高校があり卒業生は、それぞれの地域や企業等で活躍している。

また、同窓会組織も各都市部或いは、各企業や職場に存在する。

Q その役員でもある町長の考えは。

A 7月及び11月に返礼品カタログを企業に配布するとともにホームページ等で発信している。

また、出張の折には可能な限り同窓会組織や企業等に出向きPR活動を行っている。

Q イベントの在り方について

A 町主催のイベントには目的や効果が見えない、或いは同時開催が有効な催しもある。

町の催しを見直し、「錦町花街道」や「崎山ひまわり」等の地域で芽生え、活性化しているイベントや美術的な活動で、観光のルート化を図ったら、いかがか。

A 行財政改革推進委員会に於いて、町が関与する32のイベント事業の中で中止し、或いは地域住民や団体で自主運営すべきものを明確に区別するなかで、地域

と連携した観光まちづくりを行う。

公共施設周辺のトイレ、ベンチ

Q 公共施設のトイレやベンチ等の設置或いは、保守保全や清掃は充分に実施されているか伺う。

A 伊良原ダム展望台広場のトイレについては、ダム管理事務所内を使用できる。また、建設中の森林公園が完成すれば、管理棟を開放する。なお、新設については、利用者の動向をみながら対応する。

国分寺公園等のベンチは、早急に修理するとともに、B&G等の外付けトイレや洗面台の修繕並びに清掃は実施する。



トイレの確保が急がれる伊良原ダム展望台



浦山 公明
議員

Q	A
再配置、統廃合で 財源確保を	有効活用、売却、 定住促進を進める

Q 庁舎等の跡地や遊休地を処分しなければ維持管理費がかかる。町内外の方に、条件付き、格安で売却し住んでいただく方向で周知しては、いかがか。

Q 本庁舎と別館の移動は、雨風の時など大変である。アーケードの通路を設置してはどうか。

A 課長連絡会でも意見がでている。前向きに進めた

A 売買が可能な建物、土地は、できるだけ公開して、再利用できる取り組みをしていきたい。



三島団地内の遊休地

Q 産業行政について

Q 国道201号改良工事は、今年度にはマスタープランができ、結果が期待される明るい兆しが見えてきた。実現すれば人、車、文化、ひいては、町の産業が大きく変わる。人口減の進む中、活用次第では人口減の歯止めになる。ただ、机上で考えるだけでなく、また、コンサルに頼るのではなく、町の実情を知り得た職員や町民が知恵・知識をだし、我が町は我が町と意気込むことも一つの方策で

ある。

国道201号改良工事が進めば立地条件も変わり企業誘致も進むと思う。根のある企業である地場産業を活かし、一人でも多くの雇用、定住に結びつける方策は。

A 全体のマスタープランを策定している。地場産業のためにも道路網整備や雇用確保につながる政策を打ち出していきたい。

Q 町内の外国人労働者の職種、人数、トラブル等は。

A 職種では自動車関連企業が多く、120人が働いている。トラブル等は、企業連絡協議会での意見交換会では真面目に業務をしているとのことで話はでなかった。なお、今後は日本の文化を教えていきたいとのことだった。

町としては、企業連絡協議会を足がかりに企業のご意見を伺い交流と連携を進めていきたい。

高齢者支援策について

Q 一般的となった核家族化である。町は高齢者支援策は講じているが、対応策と現実の違いがうかがえる。新たな方策の必要性も考えられる。

その中で高齢者の頼みである福祉タクシー利用券支給事業について伺う。

A 現在、在宅の重度心身障害者や70歳以上の一定所得未満の歩行困難な高齢者に、480円券を5枚支給している。

なお、今後は、あいのりタクシーを対象とした300円券を選択できるような制度を検討している。

Q 介護の補助となる住宅改修の条件は。

A 要介護、要支援認定を受けている方となる。なお、工事費は20万円を上限に、工事費の7〜9割を支給している。

Q

町内移動手段のない 高齢者の支援策を問う

A

あいのりタクシーの 利用向上に周知したい



中山 茂樹
議員

Q 中山間地の多いみやこ町は、谷あいが多く、役場支所、農協等の金融機関、買い物、最寄りの駅等に行くのに大変不便である。

高齢者は車の運転免許証を返納した後の移動手段に大変困っている。大半の高齢者は、病院に行くにしても、町内の病院でなく、北九州や行橋の総合病院に月1回は行っている。手助けしてくれる人がいないときは高額な運賃でタクシーを利用せざるをえない。そのような人にやさしい方策を考えるべきである。

A 町としては、平成25年度からデマンドタクシーの

導入を開始した。

導入時は勝山諫山地区のみであったが、平成27年度には勝山地区全域、平成28年度には犀川、伊良原地区へ拡大し、平成31年3月には豊津地区への運行区域拡大を予定している。

今後は、あいのりタクシーの利用向上に向けチラシ配布や広報誌への掲載等、周知を進めていく。

スクールバスの早期利用

Q スクールバスの運行検討結果を問う。

A (教育長) スクールバスは、みやこ町スクールバス運行規則により、犀川地区において、通学距離が2.6km以上となる児童生徒の安全な通学を確保するため、2台運行している。来年度に向け、犀川地区における児童生徒の更なる利便性向上のため、平成31年2月に新たにスクールバス1台を追加導入し、3台体制とする

予定である。

また、来年度には運行規則を見直しスクールバスの利用対象地域の拡大を図る。

災害復旧工事の現在までの進捗は

Q 本年7月の大雨による災害復旧工事の進捗状況は。

A 7月の豪雨災害により、町道をはじめ、河川や林道、ため池や井堰など、みやこ町全域195ヶ所の被害があった。9月から10月にかけて国の災害査定を終えた。

現在、随時、工事の発注を行なっているため、今年度末には復旧できると考えている。



大雨により被災した道路や河川



柿野正喜
議員

Q 勝山長川〜池田〜岩熊間の道路整備が止まっているが

A 完成に向け県に強く働きかける

Q 勝山長川〜池田〜岩熊間の道路整備は国道201号から味見トンネル、国道322号への重要なルートであり期待していたが工事は途中で止まったままであるが進捗状況は。

A 県土整備事務所が計画しており買収が難航し現在は休止していると聞いています。早期完成に向け強く働

きかける。

集落内の狭い道路の拡幅

Q 京築消防の救急車の出動状況は、現時点で去年を既に上回っている。しかし、集落には救急車が容易に進入できない狭い道路がある。緊急車両道路拡幅整備事業等で対応すべきではないか。



京築広域圏消防本部の救急車

みやこ町の救急車出動回数

平成30年 12月1日現在	平成29年中
1,126回	1,102回

A 人命を左右するような道路は、現地調査を行い対応していきたいと考えています。

障がい者スポーツの推進

Q 平成26年にスポーツ基本法ができ、その基本理念には障がいの種類及び程度に応じた必要な配慮をしつつ推進されなければならないと記されているが、どのように取り組んでいるか現状を伺う。

A 現在、ボッチャやカローリングなど誰でも参加できるニュースポーツ教室を毎月開催しているが、障がいの有る方だけを対象としたスポーツ教室等は指導者の確保など課題が多く開催できていない状況である。

Q 体育施設は健常者だけのものになっているのではないか。基本理念にあるように計画的に推進していただきたい。

A 大変大事なことだと思っております。前向きに進めていきたい。

出産祝い金の支給時期

Q 出生後1年経過後に支給しているが他市町村には出生届け時に支給しているところがある。当町もそのように改善してはどうか。

A 定住の意欲を高めるために交付するもので、定住の意欲を確認するために出生後1年経過した日から祝い金の申請を受け付けている。

Q 祝い金をもらった後に転出、もらうために1年間住むとか普通そんなことはない、せつかくの制度である、この点も踏まえ見直していただきたい。

A 補助金の整理合理化会議等で協議したい。



Q

「日本一高い水道料みやこ町」と報道 根拠と対策は

A

全国一律に推計したため、
この結果となった



中尾 昌 廣
議 員

Q 全国水道料金の改定率が高いと推測される事業者の上位50と言う見出しで、全国版で掲載された。記事には推測数値であるが、2040年時点において最も料金の改定率が想定される事業ランキングをそのまま掲載したとテレビ等でも報道があった。全国1741市町村中、だんトツのトップであり、我がみやこ町にとって大きな打撃である。この報道により水道使用をやめたり、若者や企業等来なくなる可能性がないのか非常に懸念する。この根拠を問う。

A 過剰な更新投資需用費で計算されている。そのため、減価償却費や借入の支払利息等の費用も増加しており、実情を把握していない。全国一律に推計したため、このような結果になったと考えている。

Q 報道にて訂正して頂き町民にもお知らせして頂きたい。

A 町民には、今回の報道は偽りであることを報告しご理解して頂けるよう努めていく。

Q 改正水道法が今月6日衆議院本会議で可決された。この改正では官民連携と広域連携があるがいかん。

A 近隣市町村との広域連携について模索していく必要があると考えている。

Q 我が町は、県下60市町村中、高齢化率38.5%で5位であり非常に厳しい時代を迎える。高齢者からの要望

として多いのは、支所で手続きが出来ないことや、本庁まで出かけるのに大きな負担がかかることである。今後の対策は。

A 取り扱う事務に関して出来るだけサービスの低下を招かないよう町民ニーズの把握に努め、必要な窓口サービスの実施を検討する。

Q コミュニティセンターの図書室や茶室が今後、使用されなくなる。高齢者のための診療所にしてはどうか。

A 保健師や管理栄養士が地域に出向き出張講座を行っている。専門医への受診が必要なときは医療機関の紹介を行う。

Q この移動販売によって各地区のお年

寄りが昼時にコミュニティがとれ健康を確かめ合う買い物だと思う。みやこ町隅々まで順番的に行ってもらいたい。

A 販売予定時間前から数名が集い、地域のコミュニティの場づくりの好事例となりつつある。必要な地域へ拡大することで買い物に困難をきしている方々への支援に努める。



販売地区の拡大が期待される移動販売



中尾 文 俊
議 員

Q 耕作放置対策を問う
(エミューの飼育について)

A 時間が必要である

Q 耕作者の高齢化が顕著に進み、放置された田畑などが発生している。対策には様々、努力されていると思うが、その一つとしてエミューの飼育がある。

佐賀県基山市を視察したが、飼育しやすく、広大な土地もいらす、肉や羽根など、ほぼ全身が利用できる。耕作放置対応している。

策としては、極めて有効と考えるが、いかがか。また、エミューの飼育や他の作物の作付けのためには、町内の耕作放置の実情を調査すべきと考えるが、いかがか。

A 基山市では、エミューを農地で飼育している。指定管理の「きやまファーム」による事業として肉や卵、油などを加工販売して

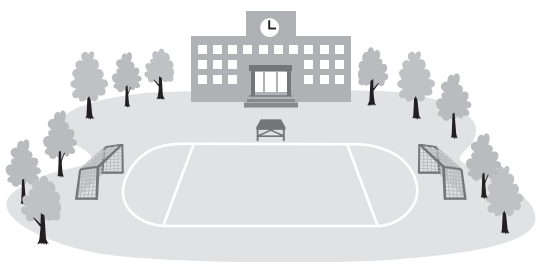


耕作放置対策として期待されるエミュー

いる。飼育に際しては、ハード面やソフト面など、問題の解決策を検討する必要があるため、時間が必要である。

Q 建設工事中の教育環境を問う

犀川地区小学校校舎の新設工事がいよいよ着手される。少子化の現状では、唯一の選択枝と認識する。しかし、子どもたちが伸び伸びと運動ができる体制や場所の確保は極めて重要と考えるが、いかがか。また、場所の確保について問う。



A (教育長) 犀川小学校の運動場に新しい校舎を建設している。児童が使える部分が狭くなっており、不便な思いをさせている。

体育の授業は、学校と充分協議し、植栽の撤去や不整地部分を整地することで運動スペースを確保している。今後、教育活動で広い運動スペースが必要な場合は、スクールバスでの移動により犀川運動公園を利用する。

生活環境整備を問う

Q 犀川地区は水道敷設の割に加入者数が少ないが、伊良原ダム建設に伴う取水量を考えると、加入戸数の増加が必要である。町の努力を期待する。

上大村地区は、基本設計が済んでいるが、敷設工事を計画していない。10月に地元区長から全戸加入するので、早急にして欲しいとの要望が出ているが、対応がないが、いかがお考えか。

併せて、柳瀬小学校も基本設計は済んでいる。子どもたちの健康面から必要である。31年度末で廃校になるが、将来的に宅地造成を考えれば必要と考えるが、いかがか。

A 大村地区は、平成25年に事業認可を受け計画している。柳瀬小学校は、廃校予定のため見合わせている。今後は、早急に協議し前向きに進めていきたい。

Q

第4次産業革命といわれる 技術革新をどのようにとらえているか

A

生産性の向上やコスト削減、働き手の不足を補うなど多くの可能性を秘めた技術革新



柿野 義直
議員

コストの効果を図れるか、今後検討したい。

教員の長時間労働・多忙化解消は進んでいるか

Q ストレスチェックの結果を報告したらどうか。

A (教育長) 検査を受けた割合は、83.3%だった。結果

は本人に通知しており、本人の同意なく第3者は入手できない制度となっている。

Q 2019年度予算でどのように取り組むか。

A (教育長) 今年4日間取り組んだ学校閉庁日を拡大する。部活動休養日の週1日の確実な実施と週2日への拡大を指導する。ストレスチェック、町独自の35人学級実現と複式学級支援の町雇用教員の配置を継続する。時間外における留守番電話の設置、勤務時間把握や公務の支援を行うシステムの導入、部活動指導員の導入を検討していく。

Q 犀川地区の小学校統合までの道筋を示せ。

A (教育長) 学校と教育委員会と協議する検討会と学校、PTA代表、地域代表、教育委員会で協議する地域会議を設置し、学校の再編に向けた様々な課題を協議し、計画的に対応している。学校と協力し閉校、開校がスムーズに実施できるように努める。

Q 築城基地周辺住民の要望

基地の拡張内容は。

A 滑走路の延長(海側に300m)、誘導路改修、駐機場、燃料タンク、弾薬庫、庁舎、倉庫の整備をする。現在、米軍の訓練移転をしているので、別途、緊急時使用に備えた計画ではないと聞いている。

Q 基地周辺住民の声は届いているか。

A 基地周辺10区については地元基地対策委員会を通じて、その他の地区は駐在

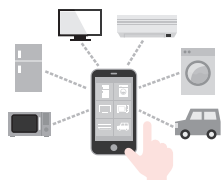
員から要望書を提出していただいている。

Q 要望は来年度予算で実現するの。

A 周辺自治区からの要望は70件、うち20件が基地問題に関する要望だった。実施すべき事業であると判断されたにもかかわらず、補助金や交付金等の交付要件に該当しないものは、町の単独事業を検討する。

IoTとは

一般的に「モノのインターネット」と訳される。身の回りの様々なモノやヒトに組み込まれたセンサーなどをネットワークで接続し、得られたデータから新たな価値を創り出す仕組みを指す。





熊谷 みえ子
議員

Q 中学校統合は
白紙撤回を

A 学校再編は必要である

Q 学校再編による小学校の廃校で過疎化が急速に進むのではないか。

地域住民の影響は考えたか。小規模校の方が教育効果はあがると考え、生徒数が減っても学校を維持することはできないか。地域経済、住民の影響はどうなるか考えるとき。

地方交付税はどの地域の

国民にも一定の行政サービスを提供できるように、地域間の財政力格差を是正するために必要不可欠なものである。

地方交付税算定において公立学校の経常的経費は生徒数、学級数、学校数が測定単位であり、それによって財源は保障をされている。中学校の統合は、見直す

べきで、地域経済や住民の影響を考えているのか。学校のない地域に子育て世代がいなくなることになりかねない。

A (教育長) 少なくとも9学級以上を確保することが望ましい。

学校の適正規模に係る考え方やこれからの時代に求められる学校施設・設備など教育環境の整備の必要性から、みやこ町においても学校再編が必要である。

支所機能の充実を

Q 公共施設の統廃合は再検討し、窓口の機能が低下しないよう支所機能の充実を。

A 犀川支所跡地は、企業誘致や宅地販売を予定している。豊津支所は、公民館の建てかえ用地として予定している。

移転に伴いサービスの低下が生じないように町民ニーズの把握に努め、必要な

窓口サービスを検討する。

図書館の3館の維持を

Q 図書館施設を他に用途転用ではなく存続を。

一定の蔵書数があつてこそ図書館の機能が働く。本を置いておくだけではなく、図書館司書を確保すること。犀川・勝山の住民はいきにくくなりサービスを受ける機会が少なくなる。

図書館の役割 は地域のよりどころ、高齢化となる中の、図書館が果たす役割は、重要だ。歩いていける範囲にあり、地域の文化の拠点、福祉施設のあり方としても、図書館は必要度が高い。



豊津地区にある中央図書館

A 犀川・勝山地区に関し、その機能の代替として、町有施設に一部の図書を初め雑誌や新聞等を配架し、住民がゆつくりと過ごせる憩いのスペースを設置する予定。

える子どもたち!



・久保小学校の児童が議会を傍聴 ～

節丸小学校・柳瀬小学校・久保小学校の6年生の子どもたちが傍聴感想文を頂きましたので、少しですが、ご紹介いたします。

☆私は、最初、議会在どのようなかたちで進められていくのかわかりませんでした。議会の傍聴をする前に議長さんに質問しました。議員の数は今、16人で次の選挙で14人入れかえることを知りました。議会では議員さんが質問をしていました。今回の議会では「AED」の普及・啓発についての話でした。地域防災力の観点から小中学生を対象に救急救命教室を開催し、命を守る教育授業をしてはどうかということについて話し合っていました。私たちみんなのことを考えて議会で話し合い、いろんなことが決まってくることが分かりました。

☆私は、12月13日にみやこ町役場に議会を見に行きました。今回の議題は、AEDの設置場所などについて会議をしていました。それについて、議員さんが意見を言ったら、町長さんや教育長さんがすぐに回答していたので、その時は、すごいと思いました。みやこ町のことがこんな感じで決まっていることが分かりました。私も、話し合いの時に質問されたら、すぐに回答したいです。また、議会を見に行く機会があれば、見に行きたいです。

☆ぼくは、12月3日に議会傍聴にいきました。ぼくは、議会はテレビでしか見たことがなかったので、議会というのは、なんなのかわかりませんでした。でも、実際に議会を見てみると、井上町長の話で、僕が住んでいる犀川地区の学校工事のことも話をしました。ぼくは、議会を見てびっくりしたことがあります。それは、話が止まらずに議会が進んでいたからです。ぼくたちの学校は社会で議会のことを習うので、今日聞いたことをいかして勉強をやっていきたいです。

☆ぼくは、議会を傍聴したのは初めてで、みやこ町をよりよくするために、どうしたらいいのか話し合っ、ぼくには、話がはやくてなかなか聞き取れませんでした。しかし、みやこ町をよくするためにスクールバスや災害を話し合うとき、集中して発言している議員や町長、教育長などが、がんばっているんだなと思いました。ぼくは議会の3つの内容について考えました。スクールバスは登校が難しい子どもたちの役に立っているんだとおもいました。高齢者の移動は免許を返納した高齢者が、「あいのりタクシー」に乗って病院に行けるのは良いと思いました。災害については、台風で被害を受けた地域がはやく復興したらいいなと思いました。

今日の議会で雰囲気がとても真剣でした。学校の代表委員会も議会と同じような雰囲気にしたいです。そして、議会のことをいかして代表委員会をやっていけたらいいなと思いました。

☆私は、議会の話を聞いて、初めてみたので、とてもすごいと思いました。みやこ町のことについて、議会の人たちがたくさん意見を出したりして、ふつうとはとてもちがってました。議員たちが話していた内容がスクールバスのことだったり、高齢者の移動のことだったり、災害についてのことだったから、議会の人たちは、みやこ町をいい町にしていきたいと思っているんだなと思いました。議会の人たちの話をしているときの雰囲気はともしんけんな顔をしていて、みやこ町のことをたくさん話し合っていました。私たちの学校では、こんな話し合いは、しないけど、話し合いがあるときは、一人ずつ話し合っていこうと思いました。



地域の将来を考

～ 犀川小学校・節丸小学校・柳瀬小学校

12月3日から19日までの会期で開催された12月定例会に犀川小学校・にきました。子どもたちの目に議会はどのように映ったのでしょうか。



犀川小学校6年生 議長室にて



節丸・柳瀬小学校6年生 議長室にて



久保小学校6年生 議長室にて

☆私は、最初、議会が何のことか分かりませんでした。それに、どんな話し合いをしているのかも分からなかったので、正直「必要なのかな?」と思ってしまいました。でも、傍聴して議員さんや町長さんたちが、私たちの町をより良くするために話し合いをしているすごく大切な場所だということを知りました。いろいろ知らなかったことを見たり聞いたり、知れてすごくよかったです。このように貴重な体験をすることができたので、これからの学習でしっかりと役に立てていきたいです。



傍聴に来てくれてありがとう!
また、勉強に来てね☆

議会傍聴のご案内

住所・氏名を記入するだけで、どなたでも傍聴することができます。議員の生の声や表情を議場で見学してみませんか。

次回、3月定例会の招集日は、2月25日の予定です。詳細については、決定次第、ホームページや防災無線等でお知らせします。

なお、12月定例会の傍聴者は84名でした。

※本会議は、本庁及び各支所ロビーに設置しているテレビで中継しています。また、町ホームページでも平成29年12月定例会よりインターネットによる映像配信を行っています。お気軽にご覧ください。



がんばっちよる

みやこLotus

私たち「みやこLotus」は、平成28年9月に発足したまだまだ新しいチームです。発足当初は、メンバーが6人しかおらず、キャッチボールや簡単なノック程度の練習しかできない状態からスタートしましたが、代表や監督、そして発足当時の保護者の熱い思いが徐々に仲間を集め、現在、小学1年生から6年生の男女14名が練習に励



んでいます。

みやこLotusの名前には、泥水の中から立ち上がってこない「Lotus蓮」の花が、泥水が濃ければ濃いほど、大輪の花を咲かせるように、泥まみれになりながら練習に励み、その努力の成果として、チームが成長して欲しい（花を咲かせて欲しい）という願いが込められています。

みやこLotusでは、強いチームになることを目指すだけでなく、子ども達が自ら努力することの大切さを学び、挨拶や正しい礼儀と言葉遣いができる子ども達の育成にも力を入れています。地域が異なる数多くの小学校か



ら集まった仲間が、グラウンドで練習や試合を経験して、思いやりや優しさを学ぶと共に、野球を通じて健康な心と体を育てています。また、野球だけでなく、キャンプやBBQなどのレクリエーションを企画し、普段とは違った形でも、子ども達や保護者同士の交流を深めています。

チームスローガンは、「**努力することを諦めるな！諦めない努力は、人を強くする！**」、みやこLotusは、野球が大好きな子ども達を待っています。初心者でも、大歓迎です。まずは、キャッチボールから体験してみませんか？見学だけでも大丈夫です。

活動場所：柳瀬小学校(みやこ町犀川)
活動日：土曜日(12時30分～17時)
日曜日／祝日(9時30分～16時)
部員構成：犀川・豊津・行橋・築城などの小学1年生～6年生
チーム名：みやこLotus(みやこロータス)
代表：西郷 信行
監督：磯崎 康雄
連絡先：080-8398-7280 (楠本)

編集後記

「平成最後」

最近この言葉を耳にすることが多くなりました。

年末発表された平成最後の漢字は「災」でした。西日本豪雨、大阪や北海道での地震等、全国各地で自然災害が相次ぎ、新年早々にも熊本で地震が発生しました。

みやこ町でも、さらに防災、減災の意識を高めていく必要があるかと思えます。ちなみに2位の漢字は「平」です。平和、平等の「平」今年には1位に選ばれるような年になればと思います。

4月には平成も終わります。今年には統一地方選、議会も新しく生まれ変わります。平成の先の新しい時代、より良いみやこ町へと成長していけることを願うばかりです。寒い日が続きますが、どうぞご自愛ください。

肥喜里 雄二

議会広報特別委員会

- | | |
|-------|-------|
| 委員長 | 田中勝馬 |
| 副委員長 | 柿野正喜 |
| 委員 | 肥喜里雄二 |
| 委員 | 吉竹次男 |
| 委員 | 中山茂樹 |
| 委員 | 飯本秀夫 |
| 委員 | 熊谷みえ子 |
| 発行責任者 | |

